

経肺経鼻投与製剤FG  
の  
活動目的  
と  
活動実績・計画

FG on Inhalation and Nasal Delivery System

2015年2月

# 経肺経鼻投与製剤FG執行部

岡本浩一：名城大学薬学部（リーダー）

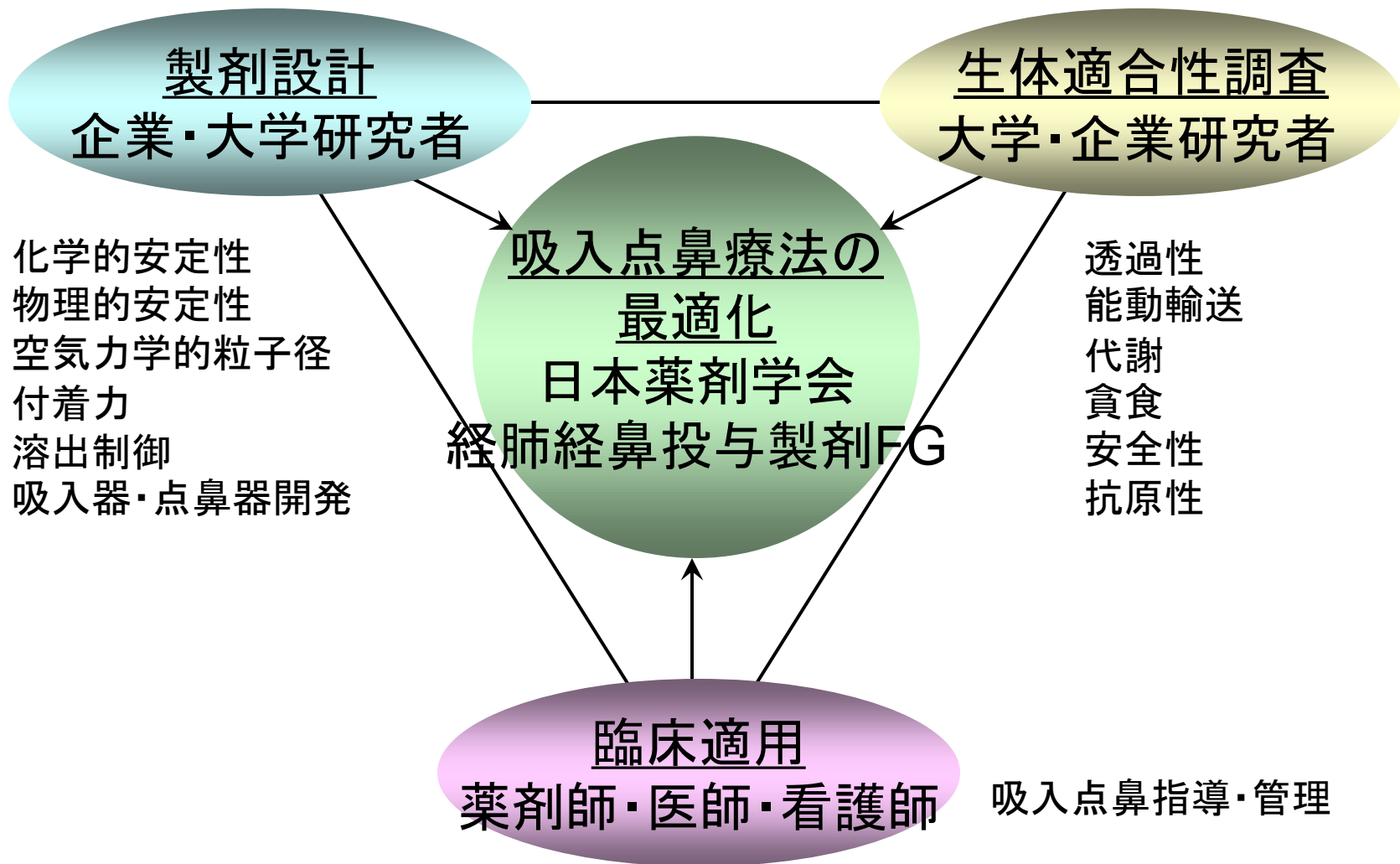
尾関哲也：名古屋市立大学大学院薬学研究科

山下親正：東京理科大学薬学部

石関一則：日立オートモティブシステムズ株式会社

# 経肺経鼻投与製剤FG活動目的

経肺経鼻投与製剤は肺・鼻局所疾患のみならず全身作用薬の投与剤形としても世界的に注目されている。本邦においても、経肺経鼻投与製剤の研究開発は大学及び企業で活発に行われている。経肺経鼻投与製剤の開発には、製剤設計とともに、投与デバイス設計が不可欠である。本FGは**患者および医療従事者にとって使いやすい経肺経鼻投与製剤及び治療法**の開発を第一の目的とする。そのために、大学・企業の製剤研究者、投与デバイス開発者、医療従事者を対象に情報を発信し、シンポジウム等の開催により情報交換の場を設ける。具体的なテーマとしては、(1)**全身作用型経肺経鼻投与製剤**の開発、(2)**患者に優しい投与デバイス**の開発、(3)既存の経肺経鼻投与製剤による**治療法の最適化**、(4)経肺経鼻投与製剤の**生物学的同等性の評価法**の検討を掲げる。



# 吸入点鼻療法最適化のための経肺経鼻投与製剤FGの役割

# 経肺経鼻投与製剤FG活動実績・計画

- ・ 経肺投与製剤FG発足(2009年1月)
- ・ 日本薬剤学会第26年会シンポジウム(2011年5月30日, 東京):「薬物の肺吸収と投与システムの最適化」
- ・ 日本薬剤学会第29年会学術シンポジウム(2014年5月20日, さいたま):「薬物の肺吸収と投与システムの最適化」
- ・ 名称を経肺経鼻投与製剤FGに変更(2015年2月)
- ・ 医療薬学フォーラム2015/第23回クリニカルファーマシーシンポジウム(2015年7月4-5日, 名古屋):「吸入剤の基礎から臨床」と題し, 大学, 企業, 臨床現場で吸入剤に携わる4名により, 吸入剤開発の基礎研究, 臨床で使用されている吸入剤の吸入特性評価, 製薬会社における吸入剤開発の実例, 吸入療法に関する臨床現場での問題点を講演.
- ・ 合宿討論会:計画中.